

今号の写真:猿楽台地のそば畑(下郷町音金地区)

楽しみが目白押しが秋がやってきました。真っ白な絨毯を広げたようなそば畑や、鮮やかに色付く紅葉などの美しい風景、新米、新そば、りんごなどの秋の味覚、皆さんはこの秋何を楽しみますか。

《目次》

- トピックス
 - ・おいしい ふくしま いただきます! 夏キャンペーン開催!
 - ・東北・北海道ブロック林業グループコンクールで優秀賞を受賞
 - ・畑の学校～生き物調査～を実施
 - ・森と水の学習会で治山事業を学ぶ!!
- コラム
 - ・知っておきたい食品の表示②～生鮮食品 玄米及び精米編～
 - ・獣害対策 電気柵～正しく使って 本領発揮～
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・稲の刈り遅れに注意
 - ・野生きのこのモニタリング検査について
 - ・25年産米の放射性物質全量全袋検査の実施について

平成25年9月20日発行 福島県南会津農林事務所



トピックス

おいしい ふくしま いただきます!
夏キャンペーン開催!

県産の農林水産物に対する風評の払拭と旬の夏野菜の消費拡大を目的として、「おいしい ふくしま いただきます!」夏キャンペーンを8月31日(土)に道の駅しもごうにて開催しました。

当地方特産の南郷トマトや下郷町産麗夏トマト等、旬の夏野菜をPRしました。

キャンペーンでは、県産農林水産物のモニタリング情報サイト「ふくしま 新発売。」のリーフレットの配布、道の駅内で買い物をしたお客様への南会津産夏野菜やリンゴのプレゼント、南会津産トマトを用いた鉄板焼きピザ、焼きトウモロコシ、カットトマトの試食提供を行いました。試食したお客様からは「今まで食べたトマトより甘くて美味し



旬の夏野菜のおいしさをPRしました

かった。」という声が寄せられました。同時開催イベントとして、JA会津みなみ西部地区営農課による南郷トマトの対面販売、道の駅しもごう農産物出荷組合による農産物の軽トラ市なども行われました。

また、フラ・タヒチアンダンスチーム「ハーラウ ラウラーナニ」の公演や、NHKの大河ドラマ「八重の桜」でおなじみのマスコットキャラクター「八重たん」も応援に駆けつけてくれるなどの賑わいもあり、お客様も大いに楽しまれ、大盛況のキャンペーンとなりました。今後、秋にも同様のキャンペーンを開催しますので、是非、ご来場ください。(企画部)

東北・北海道ブロック林業グループ
コンクールで優秀賞を受賞

8月1日・2日、県や林研グループ連絡協議会等の主催による平成25年度東北・北海道ブロック林業グループコンクールが二本松市で開催され、南会津町の伊南地区山菜きのこ栽培研究会(発表者:星博孝さん)が優秀賞を受賞しました。

同研究会はこれまで、遊休農地を活用したアクの弱いワラビ栽培などに取り組んできましたが、今回、新たな地域おこしとして、遊休施設を活用したきのこ栽培に取り組み、菌床生産技術の研究会を行うなどしながら、順調に生産を伸ばしてきました。また、南会津郡内のスーパーや食品加工会社等と販売契約を結ぶとともに、PR活動を積極的に行い、県内や関東方面へも出荷するなど、自ら販路を拡



今後の取り組みに向けて決意がみなぎります

大しなながら出荷量を増やしてきました。

このような地域に根ざし、若者から高齢者まで活躍できる実践的な活動が高く評価され、優秀賞受賞となりました。

今後は、高齢者の方々に無理のない量のきのこを生産していただき、それを集荷することで、少量生産・大量出荷が可能となる体制を確立し、地域ブランド化を進めていきたいと考えておられます。

同研究会の会員が心を込めて栽培したきのこは、お近くのスーパーなどでもお買い求めいただけます。どうぞ、ご賞味ください。

(森林林業部)

畑の学校～生き物調査～を実施

「畑の学校」は、農作業などの体験型学習を通じ、児童に食物や農作業の大切さについて理解を深めてもらうことを目的として、只見小学校で実施しており、去る7月10日に田んぼの生き物調査を行いました。

1～4年生の児童36名と、教員および当所職員等からなる「畑の応援団」にアクアマリンふくしまからの講師を加え調査を実施しました。

開始直後は、生き物を捕まえるのに苦戦していた児童達も、徐々に慣れるにつれ、泥に



泥んこになりながらも笑顔で調査に取り組みます

まみれながらも多くの生き物を捕まえることができました。生き物が何匹とれたかを競ってみたり、見たことのない生き物を講師の方に質問してみたりと、明るく楽しく元気に調査は進行しました。

今回の調査ではドジョウ、カエル、カワナ、ウグイ、ケラなどの水生生物を捕まえることができました。最後に、講師による生き物の説明に児童らは興味津々に耳を傾け、質疑応答の時にはこぞって手を挙げ、思い思いの疑問をぶつけていました。

今回の生き物調査を通して自分たちの住む町の環境や生き物に興味を持った様子で、「また生きものを捕まえたい」といった言葉を聞いたのが印象的でした。今後も、児童たちに自分たちが住んでいる町の素晴らしさ、その町を支えている農業について伝えるため、活動を続けていきます。(農村整備部)

森と水の学習会で治山事業を学ぶ！！

管内の小学生を対象に森と水の学習会を8月5日に南会津町水無川において開催しました。

これは、南会津森林土木協会が次代を担う子供たちに、森林の働きや治山事業についての理解を深めてもらうことを目的として、平成3年度



模型を使った実験に興味津々の子どもたちから実施しているもので、平成22年度からは社団法人南会津法人会女性部会主催の「夏休み！移動租税教室」との共催で実施しています。

当日は、南会津郡内の小学生32名が参加し、当所の職員が講師となり森林の働きやその大切な森林を守るために治山ダムがつけられていることを治山ダムの模型を使った実験等を交え学びました。

その後イワナの放流や水遊びを行い、午後からは山村道場に場所を移して、キャンドルづくりや木工教室も行われました。

つかの間太陽が顔をのぞかせる輝く水面の中、森林から湧き出る川の水の美しさ、清冽さを実感していました。(森林林業部)

コラム



知っておきたい食品の表示② ～生鮮食品 玄米及び精米編～



前号に続き今号は玄米及び精米編です。

包装されたお米には、JAS法に基づく「**玄米及び精米品質表示基準**」に従って以下のように表示を行うことが義務付けられています。

1 表示内容

- ①名称：玄米/もち精米/胚芽精米/うるち精米（うるちは省略可）
- ②原料玄米：産地・品種・産年・使用割合
- ③内容量：キログラム又はグラムで記載
- ④精米年月日
玄米の場合は「調製年月日」を表示
- ⑤販売者
販売業者等の氏名又は名称、住所及び電話番号

2 表示例(精米の場合)

(1)単一原料米の表示例

単一原料米とは、**産地、品種及び産年が同一**である原料玄米で、産地、品種及び産年について農産物検査法による証明を受けたものをいいます。

名称	精米		
	産地	品種	産年
原料玄米	単一原料米 ××県 ××ヒカリ ××年産		
内容量	〇〇 kg		
精米年月日	平成25年10月15日		
販売者	南会 太郎 福島県南会津郡〇〇町〇〇△△-△ 電話 ×××(×××)××××		

(2)複数原料米の表示例

農産物検査法による証明を受けていない国産品の原料玄米（未検査米）を使用した場合は次のように表示します。

名称	精米			
	産地	品種	産年	使用割合
原料玄米	複数原料米 国内産 （未検査米）			10割 10割
内容量	〇〇 kg			
精米年月日	平成25年10月15日			
販売者	南会 太郎 福島県南会津郡〇〇町〇〇△△-△ 電話 ×××(×××)××××			

※未検査米の記載は省略可能です。

なお、今回の掲載内容や、食品表示に関してご不明な点がございましたら、企画部地域農林企画課（0241-62-5252）までお問い合わせください。（企画部）



獣害対策 電気柵 ～正しく使って 本領発揮～

野生獣による農産物被害防止のため、電気柵は正しく使用しましょう。

1 設置場所

獣の足から地面に電気が抜けなければ感電しないので、アスファルトなど絶縁体のすぐ近くは不適です。柵の外側には50cm以上通電しやすい地面を確保しましょう。

さらに、サルが飛び越えないよう、柵の内側2m以内の樹や枝は伐採しましょう。

2 柵線のはり方

通電しやすい獣の鼻や口唇が柵線に触れるよう、地面から20、40、60cm高の3本を基本とし、シカを対象とする場合にはさらに90cm高を加えてください。

地面に凹凸がある場合は、支柱の位置や本数を調整し地面から20cm間隔を厳守します。最下段の柵線を省く場合は、トタン板等と地面との隙間を塞ぎ潜り込みを防ぎます。

3 メンテナンス

通電中は電圧が5,000V以上あるか定期的を確認します。電圧が低下している場合は、電牧線の切断や草等の接触、アース埋設部の乾燥などをチェックしましょう。

4 最後に

電気柵は物理的な強度がないため、設置当初は柵が破られることもあります。すぐにあきらめてはいけません。

使用方法が間違っている場合は改善しましょう。

獣が電気柵を知らないが故の接触、衝突による事故であれば、その怖さを学習した獣は、次からは柵自体に近寄らなくなるでしょう。

<鳥獣害対策の肝>

鳥獣害対策の肝は集落力にあります。

集落にある餌を減らし、見通しを良くし、みんなで追い払いをすることで、獣の出現回数を減らし、そして獣から電気柵の前で試行錯誤する余裕を奪えば、電気柵はその本領を発揮するでしょう。

柵の中でも外でも餌がとれなければ、獣は集落に来なくなります。集落全体で協力し、あなたの集落を獣にとって魅力的でない場所にしていきましょう。

（農業振興普及部）

農林事務所からのお知らせ

稲の刈り遅れに注意！

昨年同様、出穂期以降暑い日が続き、今年も刈取り適期が早まることが予想されます。高品質の米を収穫するために、適期刈取りを行いましょう。

①ほ場で穂を観察する。

1穂に活青が5～6粒残る状態が最適です。

②積算平均気温で刈取り時期の目安を付ける。

③刈取り適期を判断したら遅れずに刈り取る。

●積算平均気温の目安

ひとめぼれやあきたこまち：950℃

コシヒカリ：1000℃



刈り遅れるほど胴割米が多く発生する要因となりますので、刈取り晩限は積算気温で概ね1200℃を目安としてください。

また、収穫を行うときは、時間に余裕をもって、農作業事故に気を付けて行ってください。（農業振興普及部）

野生きのこのモニタリング検査について

県では、野生きのこ45品目について、品目ごとに市町村単位で緊急時モニタリング検査を実施しています。野生きのこの出荷販売に当たっては次の点に御協力をお願いします。

①緊急時モニタリング検査の実施

これまで摂取や出荷制限がかけられていない市町村の野生きのこについても、**今シーズンの検査で安全が確認されてから出荷販売する**よう、御協力をお願いします。

②正しい産地表示

安全・安心な野生きのこを消費者に届けるために、**正しい産地表示**をお願いします。

なお、検査結果は、新聞や県のホームページなどで公表されますので、御確認ください。

また、出荷前に速やかな検査を行うために、野生きのこの発生情報がありましたら、森林

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島宇根小屋甲4277-1
ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

林業部林業課（0241-62-5375）までお知らせください。（森林林業部）

25年産米の放射性物質 全量全袋検査の実施について

管内の24年産米については、生産者の皆様の御協力により、30万袋を超える全量全袋検査を完了できましたことに改めて御礼申し上げます。

25年産米についても、信頼向上と安全・安心の確保のため、全量全袋検査を実施します。生産者の皆様の一層の御理解と御協力をお願いします。

1 検査の対象

昨年同様、県内全ての地域を対象に検査を実施します。出荷・販売米、飯米、縁故米、食用となる「ふるい下米」など、全ての米が検査対象です。

2 検査の方法

管内では昨年と同じ7ヶ所の検査所において、検査を実施します。

(1)米袋識別バーコードラベルについて

25年産米の検査では、新たなラベルとなります。昨年配付したラベルは廃棄してください。

(2)検査済ラベルと米の出荷・販売について

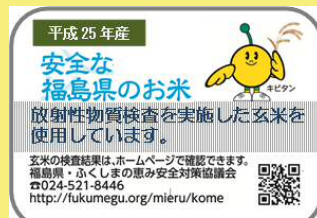
検査を行い、基準値以下である米袋には、検査済ラベルが貼られます。25年産米では国のモニタリング検査がありませんので、検査済ラベルが貼られた米袋から順次、出荷・販売・利用できます。

また、検査済みの玄米を使用したことを示す25年産米精米袋用ラベルの配布は、ふくしまの恵み安全対策協議会にて受け付けております。（農産物検査を受検したものに限り）

詳しくは、各町から配付される資料をご覧ください。（農業振興普及部）

<申込先>

ふくしまの恵み安全対策協議会(県環境保全農業課)
電話 024-521-8446



《精米袋用ラベルのイメージ》



《検査済みラベルのイメージ》



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。